

平成 23 年 11 月 10 日

千葉木鶏クラブ  
(320回 例会)

## 映画 『近江聖人 中江藤樹』

立冬を迎え、早々と年の瀬を感じる頃となりました。  
正に、“歳月人を待たず”で、時の過ぎ去る早さに、今更ながら驚くばかりです。  
さて、今月の例会は『近江聖人 中江藤樹』先生の映画を上映します。  
相次ぐ企業の不祥事、犯罪の凶悪化など、個人や企業の倫理が崩壊、「モラルハザード」の時代。  
中江藤樹先生から、私たち人間の生き方を問い直す示唆は、混沌の時代を生き抜く羅針盤となる  
ことと思います。  
皆さんと共に楽しみそして語り合いたいと思います。

### 記

1. 日 時 : 平成 23 年 11 月 27 (日) AM 8 時 ~ 11 時
2. 場 所 : 平山建設 (株) 会議室 (6F) 電話 0476-23-1111  
<交通案内> 京成成田駅東口徒歩 5 分、JR 成田駅徒歩 8 分 駐車場有り。
3. 会 費 : 1000 円
4. 映 画 : 『近江聖人 中江藤樹』 文部科学省選定
5. *STORY*

大洲藩で若くして郡奉行となった中江藤樹は、不作により減租を願う農民の声に応える。  
そんな藤樹に多くの若い藩士が共鳴し共に学問を学んでいたが、近江の小川村で一人さびしく  
暮らす母のことを思い、ついに武士を捨て帰郷する。

脱藩は、死をも覚悟しなければならぬ厳しい選択であったが、藤樹は母への「孝」を選んだ。

小川村に帰った中江藤樹は、家族や村人たちの暮らしの中で、出世や名誉のためではない自  
らの学問を確立していく。

“人はこの上なく美しい心をもっている”と信じ、学問を暮らしに実践していく真摯な生き方に、  
村人は次第に魅せられていく……。

### <藤樹先生の言葉>

“致良知” (良知に致る) : 人は生まれながらに美しい心を持っている。

“五事を正す”

- 貌 (ぼう) : 和やかな顔つきで人と接し  
言 (げん) : 思いやりのある言葉で話しかけ  
視 (し) : 澄んだ目でものごとを見つめ  
聴 (ちょう) : 耳を傾けて人の話を聴き  
思 (し) : まごころを込めて相手のことを思う

### 監修 童門冬二



近江聖人中江藤樹のことを、これほどわかりやすく生き生きと描いたDVDはいままでありません。

特に、城や藤樹の居住・書院などはそのままです。

藤樹だけでなく、共に生きた人と時代の見事な再現です。

以上